

学級担任のまなざし 23

Okayama Prefectural Education Center

R2.7. 8(Wed)

「保護者懇談会」

若手教員の中には保護者懇談会に苦手意識を持っている人もいます。私もそうでした。

「子どもが通知表を持って帰った時、何と言葉をかけるか」という話題で懇談会をしていた時のことです。あるお母さんが「私は『花子ちゃんは、どんなことを頑張ったの？ … それをよく頑張ったのね。じゃあ、今度は何を頑張りたい？ … 今度はそれを頑張っただけ』と言うかなあ。まずは、頑張ったことを聞いてあげたい」と言います。隣の保護者が「なるほど。そう言われると、子どもも笑顔で頑張ったことが話せるし、やる気もわいてきますね。」と続きます。別の保護者が「私は『太郎くんは、今度は何を頑張りたい？ … じゃあ、今度はそれを頑張っただけ』と、頑張らないといけないうことから聞いてしまうかも」と言うと、「そう聞かれると、頑張ったことが言いにくくなってしまいわね。」という発言が続きます。

「先生は、どう思いますか？」と尋ねられ、「まず、頑張ったことを聞く方がいいと思います。もし、『次郎くん、今度は何を頑張らないといけないうの？ … えっ、それだけ？ もっとあるでしょ。お姉ちゃんはもっと頑張っていたわよ。どうしてお姉ちゃんのように頑張らないの？ ところで、次郎くんは何を頑張ったの？』と言われたら、通知表なんて見せなきゃよかったと思うに違いありませんね。」懇談会は、大爆笑となりました。

前日まで子育てや心理学の本を読んで「懇談会で何かいいことを言わなくっちゃ」とプレッシャーを感じたまま当日を迎えたのですが、終了後、ある役員の「先生、みなさんの意見、勉強になりましたね。」という言葉聞き、「保護者に何か教えないと、と気負わずに、逆に子育ての経験者である保護者から勉強するつもりで参加しよう」と考え直すと、次の保護者懇談会が楽しみにになりました。